



『トクシマ・アンツアイガー』

第2巻

第17号

徳島 1916年1月16日

ダーダネルス海峡は解放された

われわれにとってはもう周知のことなのだが、自分たちは安全ではないとダーダネルス海峡のイギリス人はずっと以前から感じていた。「ダーダネルス海峡の失敗に終わった冒険」をやめる動議が、何回も下院で提案された。セルビアでの迅速な勝利によって、今や大量の新たな火砲等を運ぶ道が切り開かれ、敵はダーダネルス海峡から部隊を引きあげることになった。一見したところ、彼らはそれほど人命を失うことなく撤退したようだ。しかし、トルコ人が手中に収めた大量の戦争物資は非常に重要であるように思われる。

12月19日から20日にかけての夜、イギリス人は少しも成果を上げることなく、非常に大きな犠牲を払ってスモラ湾の陣地から撤退した。当時、世界中に次のことが打電されていた。ガリポリ半島の先端にある陣地を放

棄するつもりはない。想定しているのは、ジディル・バールの防衛施設をダーダネルス海峡の「ジブラルタル」として手中に収めることであると。しかしその間、この部隊は別の場所でならもっとわれわれの敵の役に立っていたように思われる。というのは、1月10日付の電報は、敵はこの陣地も放棄したとの情報をもたらしたが、そのことによってダーダネルス海峡は完全に解放された。

ダーダネルス作戦を開始する際、誰がコンスタンチノーブルを占有すべきかについて敵は言い争っていたこと、コンスタンチノーブルへ通じる道の開放が間近に迫っているとしばしば吹聴されていたこと、これらを思い出すならば敵は醜態を曝すことになり、その影響は計り知れないと確かに言うことができる。

しかし、ダーダネルス海峡のわれわれの陣営が大きな成果を上げたことは明白である。

特にひどい損害を被ったのは、共同作戦を取っていたイギリスとフランスの艦隊である。しかも、イギリスは以下のような船舶を失った。「イレジスティブル」1万5,250トン、「マジェスティック」1万5,150トン、「ゴリアテ」1万3,150トン、「オーシャン」1万3,150トン、「トライアンフ」1万2,000トン。もっとたくさんのイギリス戦艦と迎洋艦が損害を被った。特に言及する価値があるのは、イギリスがここへ送り込んだ最も近代的な軍艦「クィーン・エリザベス」のひどい損傷である。フランスの損害も、それに劣らず大きかった。ダーダネルス海峡で被った第一級の船舶の損害と同じくらい甚大であった。たとえば、ダーダネルス海峡の入り口に来ていた第一級の軍艦のひとつである装甲巡洋艦「ブーヴェ」1万2,000トンが沈没し、戦艦「シュフラン」と巡洋艦「レオン・ガンベッタ」はひどい損害を被った。その結果、敵の船舶被害総数は8万700トンに達した。それゆえ、損害はますます耐え難く感じられるだろう。というのは、全てが無駄な犠牲になったからである。

上陸兵団の損害は途方もないものだった。すでに10月半ばに、トルコの

国防大臣は敵の死傷者を 25 万人と見積もっていた。最近になって、イギリス国防省の下級書記官は、イギリスがダーダネルス海峡の冒険的な企てが原因で 12 万人の犠牲者を出したことを認めた。ダーダネルス海峡での戦いにおいて非常に大きな役割を担ったカナダとオーストラリアの予備部隊の損失と、さらにはフランスの上陸兵団の損失をイギリスは計算に入れていなかったのも、エンヴェル・ベイが挙げた数字は大き過ぎるとは言えないだろう。

こうした数字を検討すれば、おそらく次のように言うことができよう。「そんなことをいうのも、彼らにとってここ以上の大きな出血は、なかなか見られないからだ」と。しかし、かなり以前からダーダネルス海峡は平穏であった。おそらく敵の側でも悟っていたのだろう。どんな犠牲を払っても、それは彼らの戦果ではなくわれわれの戦果にしかつながらないこと、そしてこの先も出血によってはもう大した成果は上げられないことを。しかし、この戦場に最上にして歴戦のトルコの諸部隊が拘束されていたのに、今後これらの部隊は別の場所で非常にすぐれた働きを見せるであろう。だから今、われわれはダーダネルス海峡のそばの二つの敵陣地の排除に成功したことを、重要な勝利と呼ぶことができる。

かつて非常に誇り高かったアルビオン号が、イスラム勢力によって敗北した。このイギリスの敗北が、その他のイスラム世界にどのような影響を与えるかについて、うすうす察することができる。と同時にこの影響が、やがてわれわれに有利な結果をもたらすことを期待したい。

七福神（1）

日本芸術の大好きなテーマに数えられるのが七福神である。ここ徳島の地の至る所で、それらに出会う。瀬戸物屋で酒瓶や盃、あるいは壺を買お



1. 弁天



2. 大黒



3. 寿老人



4. 福祿寿



5. 惠比寿



6. 毘沙門



7. 布袋

うとする時であれ、日本工芸の巧みさの証拠として小さくて愛くるしく彫られた根付を、あるいは絵画と木版画を探し求める時であれそれらに出会う。七福神の表情を見れば、それは直ちに神々を推測させるものではなく、ほとんどが多少なりともふざけた人間の姿をしている。その姿は、徳川時代に起源をもつ呑気で無邪気な人生の享樂を表している。

もちろん七福神は仏教に出てくる神々である。それらの起源を辿れば、ほぼ全てがインドと中国のこの宗教に行き着く。しかし空想力豊かな日本の芸術家は外国風の性格を取り去り、国民感情に見合ったかたちでそれらを造り上げたのだった。

福の神のなかで唯一の女性は、大弁才天、すなわち瞑想の大女神、簡潔に言えば弁天と名付けられている。彼女はほぼいつも豪華な衣装をまとい、岩窟の中あるいは水辺の岩に座って、琵琶を弾く姿で描き出されている。が、時には琵琶なしに竜や蛇の上に乗った姿で描かれている。弁天は知力、安寧、幸運の提供者であり、高潔な行為の女神、愛情を届ける者と呼ばれている。それゆえ、男も女も七福神を、誠実な愛情を手助けする者と呼んでいる。弁天は美しく響く声の持ち主で、七福神の集会では音楽でもてなし神々に給仕するので、芸者のモデルになっている。甲冑を着けた忿怒の三つ目の武者が、毘沙門天である。彼は片方の手に槍を、もう一方の手に小さな仏塔を持っている。彼は仏教の教義を保護し、寺院を守り、祭式がとり行われる場所を守る。彼は四方位を監視する四天王の一人である。すなわち、北方及び盗人が足音を忍ばせて歩く真夜中及び時間は彼の保護下にある。そのことによって、彼は富の守り神になっている。

僧は供物と喜捨を求め、平信徒は日常のパンを求めて、大黒に、すなわち大きな真黒い神に祈る。彼は中国風に仕立てられた衣をまとい、足には中国風の長靴を履き、頭には角張った角帽を被っている。彼の標章は二つの米俵である。その上に彼は乗り、そして左肩にはいっぱい詰まった袋を掛けている。彼が片手に持っている巻いたハスの葉は次第にハンマー風の用具へと変化するが、彼がそのハンマーを振りさえすれば、あらゆる種類

の高価なものがばらまかれるのである。それゆえ、国民は彼を特に安寧の神と見なしている。薄い髭を備え、取り澄ました彼の顔付きは、常に明るく友好的である。時折彼は船に、つまり宝船に宝物を積み、帆と舵を操作する。あるいは、自ら手綱を引く馬にそれを背負わせている。大黒は、日本人に人気のある家の守護神である。

今まで述べた神々はインドに起源を持つ。中国からやって来たのが長寿の神、すなわち寿老人及び福祿寿である。彼はその名の通り、長寿と同様に幸福と安寧をも授ける。二つの神は、一見したところ同一の起源を持つ。彼らは、活動の点ではほとんど同じように描写されている。白い顎鬚を蓄え、頭には縁のない平たい帽子を被り法服を着た、気品のある印象を与える老人として寿老人は比較的新しい時代に登場した。彼の眉と耳たぶが特に長いのは、聡明さと神性さの現れである。片手に長い杖を持ち、彼の頭は実にしばしば光輪で囲まれている。一匹の鹿がほぼいつも彼に付き添っている。彼は常に小人のような体型をし、不釣り合いな程に高い頭を持っている。そのことで容易に彼は寿老人から区別することができる。彼は、長寿の具現と見なされる動物によってほぼいつも付き添われている。その動物は鹿であったり、鶴であったり、コウノトリであったりあるいは亀であったりする。だが、これらの動物は寿老人の場合にも確認できる。二つの神は長寿を授けるばかりではない。それは、いまわの際まで続く生命の喜びを与える。それは純粋な良心であり、理性であり、かつ英知である。その結果、旧き賢人の教義や文学上の知識を捉えることができる。

第4回演劇の夕べ

徳島、1916年1月16日

『労働』

ルートヴィヒ・ヤコボウスキーによる物語

登場人物

ビングセン	大きな汽缶工場の所有者
リヒャルト・ビング博士	その息子、技術者
マルヒョー	技術者
帝国海軍士官	
ドレーヴェス	守衛
ヘレーネ	彼の娘
フリッツ・シュミット	機械係長
シュルツェ	工場の労働者
ラウニ	
ブルーメ	
シュトロイゼル	
クネップヒェン	

物語は、1900年の大晦日に、ベルリンにあるビングセン工場の控えの
間で展開される。

上演時間 約1時間

『警鐘』

ゲオルク・エンゲルの劇

登場人物

アンドレアス・ナーゲル	靴屋の親方
エミーリエ	その妻

ヘレーネ	二人の娘
クリューガー	官房事務官
フランツ・ティーデマン	ナーゲルのところで働いている職人
リヒアルト・フォン・ハイジング	将校
レー博士	市井の学者、ナーゲルのところに 同居している間借人
ヴルヴェーバー博士	医師
学生、機械工、民衆	

戯曲の舞台は 1848 年革命期のベルリン。

ナーゲル親方のところ。居間兼靴屋の仕事場

上演時間 約 30 分間

7 時 30 分開始

戯曲の間に 20 分間の休憩

近代的戯曲 — すでに以前、われわれはこの概念について論じたことがある。当時、われわれはレッシングの時代とハウプトマンの時代を対比した。ところで、新人は自分たちの芸術の目標をどこに見ていたのだろうか？ 19 世紀初頭の偉大な演劇作家と彼ら新人の作風を区別するものは何だろうか？ — 彼らは伝来の技法と使い古された芸術上の手法を拒否し、統一的风格を要求する。すなわち、劇は一片の「生き生きとした人生」のように観客にはたらきかけるべきであると主張し、この幻想を妨害するかもしれない全てのものと彼らは戦う。独白は劇から一挙に消え失せ、方言による対話が登場する。それどころか、彼らは韻文で書かれた戯曲にすら完全な価値があると認めることができない。あらゆる性格が同じ愛と献身でもって描かれている英雄劇が、かつて存分に展開された。そこには人間の総体性がある。そこはかつて、レッシング、シラー、クライスト等の劇ではシェークスピア劇のような英雄（主人公）が立っていたのだ。さて、意

図された幻想としての劇の立場か、それとも劇的な芸術作品は芸術作品の姿を取るべきであるとの見解か、どの立場が正しいのかについて見解は大きく分かれる。その際、実り豊かな成果を上げるためには一般に芸術の目的にまで遡らねばならないだろう。しかし、われわれがそこまでやるのはいきすぎだろう。双方の間に我が身を置くことでわれわれは満足するし、双方いずれにもそれぞれの個性の正当性を認めることで十分である。

われわれの劇は、全く近代的スタイルを保持している。二人の作家は、劇作家としては実際に名声を得ることはなかった。『労働』の作者の強みは叙情詩の領域にあり、彼のおかげでこの領域に一連の情緒豊かな詩（『昼と夢から』）を見ることができる。小説（『ユダヤ人ヴェルター』、『ロキ』）のなかで、彼は類い稀な性格描写力を披露している。それによってわれわれは、われわれの戯曲のなかの労働者の姿をもほぼ把えることができるのである。

ルードヴィッヒ・ヤコボウスキーは、1868年にシュトレルノで生まれた。彼は将来性豊かな才能の持ち主だったが、働き盛りの時、1900年12月にベルリンで亡くなった。ヤコボウスキーが叙情詩的才能によって知られたように、グライフスヴァルト出身のゲオルク・エンゲル（1866年生まれ）は、二つの小説『哲学者ハウン・クリュート』と『虹の上の騎兵』によって多くの人びとに知られるようになった。他方で彼は、戯曲『魔女の鍋』や『処女ズザンネ』等によっては未だ活動の場を手に入れることができなかった。喜劇『陽気な居城』も1914年にベルリンでいくらか成功しただけで、結局彼は地歩を固めることができないだろう。彼は、『警鐘』のなかで、48年革命の時代風潮をすぐれた仕方で描写している。そして、親方ナーゲルと職人フランツといった作中人物は、その詩人の偉大さを教えてくれる。

上演前の午後に舞台で戯曲をリハーサルするため、大広間から退出するよう願います。新しい芸術上の構想に基づくプログラムが以前と同様、広

間の入り口で販売されます。

演劇部

チェス・コーナー

(駒の略語 K = キング、D = クイーン、L = ビショップ、
S = ナイト、T = ルーク、B = ポーン)

第 77 問の解答

1. Db6-f8 g2 - g1 (D!S!)
2. Se4-f2 (Df8 - f1) 詰み
1. Sa2 - c3(x b4)
- 2 Se4 - c3 詰み
1. d2 - d1 D+
- 2 Sb4 - d3 詰み

第 78 の解答

- 1 Db4 - c4 Lc6 x c4
- 2 Sb6 - d7+ Ke5 - d5
- 3 Tf6 - d6 詰み
1. Tg2 - d2
- 2 Dc4 - d5 + Td2 x d5(Le6 x d5)
3. Sb6 - c4 (d7) 詰み

第 77 問に正答を寄せたのは、ヨーゼフ・ヴェーバーである。

第 79 問

白：Kb1, Df1, Td4, f4, Sc2, e2, Ld7, Bd2, c3, e3.

黒：Kd5, Sd1, Bb2, c4, c5, d6, e4, e5, f2.

2 手詰め

おもしろい対称構成に注目！

第 80 問

Weiß: Schw.: .

白：Ka1, Dc7, Sc4, f5, Bb2, c3, f4, g3

黒：Ka2, Lb5, Ba5, b7, c6, d3, c6, f4, g4

3 手詰め

愛するアンナ！

僕はこのことを知らせたい。すなわち、大口を叩いたりぶつぶつ不平を言うような下手な鉄砲打ちではない。そうではなく、僕はおそらく 50 歩離れたところから、鉄砲で頬っぺたのにきびを打ち落すことができる程の確かな腕前と視力の持主なのだ。愛するアンナ！君がにきびの持ち主だったらよかったのに。そうすれば、君は知るに違いない。僕がポムカレ¹ 大統領を射殺すると、うまいぞクネチュケ！と思わず中尉殿が口にしたことを。というのは、150 メートル離れた距離から僕がポムカレ大統領を射殺したのは、まさに曲芸だったからだ。これはパルレヴー²（フランス野郎）がこしらえた悪ふざけなのだ。というのは、詳しく言うと、やつらは塹壕のなかでシルクハットをあちこち持ち運び、こう叫んだのだ。アタンシオン（気をつけ）！ムッシュ・ポムカレ（こちらはポアンカレ様）！ムッシュ・ポムカレが視察にやって来たぞ）！ムッシュ・ポムカレ万歳！

愛するアンナ！そういうわけで、君は今やっと次のことが分かるだろう。パルレヴーは心のなかでは尊敬の念を抱いていないことが。というのは、これらは塹壕のなかでシルクハットをあちこち持ち運び、お上である！と言っているからだ。だから僕は激怒し、銃を手に取り怒りを静めようとしたのだ。そして今、僕は君にこう書きたい。僕はシルクハットめがけてぶっぱなすと、それは激しい音を立てて破裂した、と。僕の愛する友よ、もしこれが本物の大統領だったなら、息を止めて、クネチュケと戦争を始めたのは間違いだったと呟いたことだろう。愛するアンナ！僕がこれを君に書くのは、猟で一匹の兎を仕留めないからといって、下手な鉄砲打だなどと心の中で思わないでほしいからだ。というのは、僕が飼兎を仕留めなかつ

1 フランス語人名でポアンカレ。ドイツ語なまりである。

2 フランス語の "Parlez vous ...?" (... を話せますか?) の発音をフランス人を指すものとして使っている。

たのは気紛れからではない。そうではなく、悪戯のせいだったのだ。

というのも、中尉殿は獵獣の肉を食べたくてたまらなかったもので、こう言った。クネチュケ、第三中隊の受け持ち区域内に兎がいるぞ、だからそこへ行って二、三匹撃ち仕留めて来い、と。僕は中隊長殿への推薦状のおかげで、第三中隊のところに行くことができた。しかし僕はその推薦状を、君も知っているピーヤッツで塗りたくったので、すぐに独り言を言った。これがうまく行ったら、僕はハンスだ！と — そして、僕と一緒に兎を撃つ練習場へ行くため、今第三中隊のなかの一人が立ち上った。兎を撃つ練習場は、小さな盆地の前にある山小屋だった。そして、塹壕がその山小屋から盆地の向う側に延びていた。その時、第三中隊の例の人物がこう言った。向こうの石が転がっているあたりに兎の巣穴がある。そこで兎が出て来るまでずっと山小屋のなかで様子を窺うように。兎を撃ったとしても、出て行って盆地の草原を横切って進んではだめだよ。そんなことをすると他の兎を追い払うことになってしまうからね。そうじゃなくて、ずうっと背をかがめたまま塹壕を進んでいくように。それから、足もとは靴下にして歩くように、と。愛するアンナ！ 第三中隊の例の人物が慣習に従い、獵師の幸運をと挨拶してずらかってしまった。僕はその場で半時間もの間、様子を窺っていた。そして、僕は次のことを君に報告する。丸々と太った兎が突然石の上に座ったので、これは上等な焼き肉用の肉だ、それを手に入れようと僕は独り言を言った。僕は相手に気付かれないように狙いを定め、撃つと弾は命中して兎はぐったりした。僕はとても嬉しかった。僕はもう長靴を脱いでいた。塹壕のなかをそっと足音を忍ばせて歩き、行ってその飼兎を取って来るために。しかし、信じられないことに、その兎はそこからいなくなっていたのだ。愛するアンナ！ おかしなことがあるものだと考え、これは謎だと独り言を言った。そこで僕は、山小屋から様子をもう一度窺おうと塹壕を通して引き返した。

愛する友よ！ 引き返した時、僕はなんと不思議な思いに駆られた。見遣ると、何と兎がいるではないか。以前と同じ所に。そこで僕は、子兎ちゃ

ん、今度こそ思い知らせてやるぞ！と独り言を言った。そして、僕はもう一度鉄砲をぶっぱなした。すると、兎は空のパン袋のように倒れた。猟獣の肉を手に入れようと、塹壕を通過して引き返して、僕は激しい驚きに襲われたのだった。

愛するアンナ！兎がまたもや姿を消したとは、全く馬鹿げた話だ。もし自分が老婆だったら、これは鳥肌が立つような事件である。だから、僕は君に書かなければならない。だから、君が怖がらないように書かなければいけないんだけど、この話をもっと馬鹿げたことなんだというのは、僕は射殺された兎を発見しなかったもので、悄然となって塹壕に引き返した。そして心の中で思った。狩は止めにしよう、と。だって、兎を二度撃って、二度とも姿を消すなど冗談ではないからだ。愛するアンナ！そのことを僕は、山小屋に戻りながら考えたのだ。

人が僕に対して、君がこれから読むようなことをするとは、悪魔に殴られると言いたくなるよ。というのは僕がもう一度あの石の方を見遣ると、あの兎が三度目もそこに座っていたからだ。だから僕は、この厚顔無恥のために、神聖な怒りで満ち溢れたのだ、きっと。そこで僕はもう一度銃で狙いを定めた。撃てば兎は木端微塵になる。石の上からゆっくりと転げ落ちる様子を想定してごらん、愛するアンナ！君はきっと幸せな気分になり、全てよしと独り言を言うだろう。だが、そうはいかない。僕は塹壕を通過して例の場所まで行くと、兎はいつものようにずらかっていた。兎が座っていた場所には、ただ褐色の物体だけがかった。

愛するアンナ！それは長靴下だった。そこで僕はすでに、ははん！と独り言を言ったことが君には分かるだろうね。というのは、腹に二、三発の弾を抱えた兎は、長靴下を編む等のために石の上に座りはしないことを一等兵は見抜いていたからだ。そこで、僕は今度は塹壕を通過して戻らなかった。そこを通ると、石のところで何が起きるのが見ることができなかったからである。そうではなく、盆地の草原を横切って、しかも後退りして戻った。愛する友よ！恐らく僕はその時、うさん臭い秘密を嗅ぎ付けた。とい

うのは、僕が 20 歩離れることによって、兎が再び現れたからだ。あの石の上に座るために。そして、僕は今君に白状しなければならない。それは正真正銘の兎ではなかったことを。そうではなく、それは剥製の兎だった。それは銃剣によって、第三中隊の坑道からやって来たのだった。

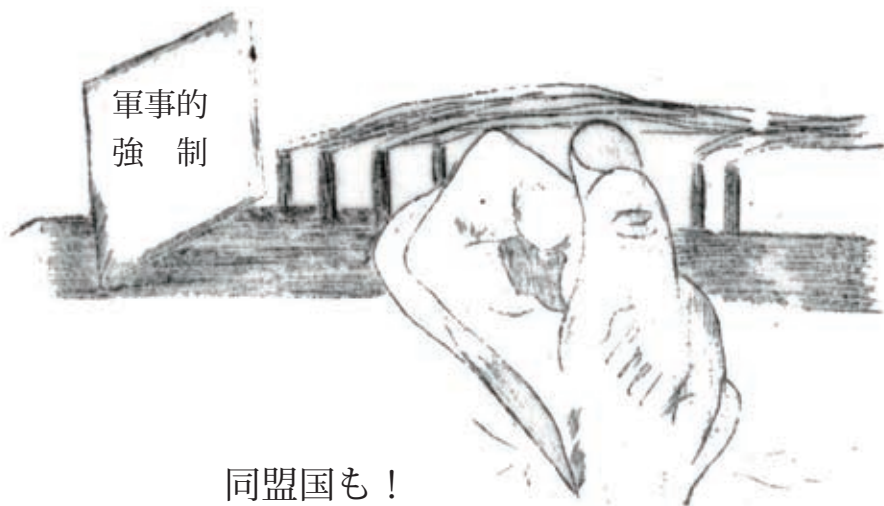
愛するアンナ！こうして兎についての事件がどうだったのか、君が知ったことを希望したい。この話は君の小説の「血まみれの手」に出てくるような妖怪現象だなどと考えるはいけない。この兎は君と同様、魔力などは持っていないと君に伝えて、終わりとしたい。これでもって君に口づけを。

君を心から愛する

ハインリッヒ・クネチュケ



イギリス！



卿は



旅立った

しかも東方へ

イギリスでは疑問が広まっている。

なぜ？ どうして？ どこへ？ なんのために？

沈没が彼をそうさせたのか？

彼はバルカン半島での

軍の指揮を引き継ぐだって？

彼はインド人をおとなしくさせるだって？

セルビアに侵攻するよう

彼はギリシア人に強要するだって？

セルビアの諸都市に砲撃を加えるだって？

彼はヴェニゼロスと一緒に

ギリシアへの破壊工作を行い

そして革命を起こすだって？

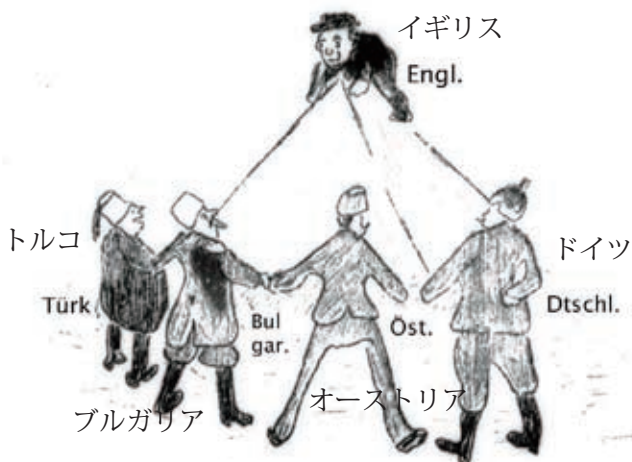
ダーダネルス海峡のトルコの支配力を

打ち倒すことは必要か？

彼がそれを試みるだって？

部隊を呼び戻すだって？
彼が同志に支給するのは
今やダムダム弾か？
十分に訓練された部隊が送られるのは
おそらくエジプトか？
それは東方のそこで彼が
単に新たな地位を手に入れるためなのか？
今イギリス人たちは
返答を切に請うている。
だが、アスキスは乗り気ではない。
彼は秘密を守り、沈黙している。
これはなおさら優れたやり方だろう。
だから彼が語るとき、彼は嘘をついているのだ！





ぐるぐる、輪踊り

僕はそれに精通している

君たちがエジプトに入ってくると

その場合には僕の調子がとても悪くなる

鳩よ！

鳩よ！



郵便切手で 20 銭を送付すると
経験豊かな飼育者が仮綴本『鳩を鳩小
屋に拘束する方法』を送ってくれます。